

2015年8月実績概要（メモ）

（2015. 9. 17）

汎用樹脂の国内出荷は夏季休暇の影響から前月を下回るも、前年比では4樹脂揃ってプラス。

1. 生産動向

イ) エチレン 595,400トン

前月比	+6.5% (+ 36,200トン)
前年同月比	+1.5% (+ 9,000トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	-	-
定修要因等	+ 5.9%	+ 4.3%
能力増減	-	▲ 4.9%
稼働率変動	+ 0.6%	+ 2.1%
生産増減率	+ 6.5%	+ 1.5%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.6%→当月 94.2% ←前年同月92.3%
 定修プラント：前月 なし → 当月 なし ←前年同月 1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主に稼働率要因や定修規模差から HD、PP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMA モノマー、SBR、BR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの12品目でプラスとなった。LD、PS、ANなどの5品目はマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等から HD、PS、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、MMA モノマー、SBR、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの10品目でプラス。LD、SM、ANなどの7品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、HD は主に稼働率要因、PP は定修規模差等からプラスとなった。LD は主として定修規模の増加、PS は稼働率要因からそれぞれでマイナスとなった。

前年比では、HD、PS は稼働率要因からプラス。LD、PP では定修規模差や稼働率要因等からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、夏季休暇に伴う営業日数の減少から、当月は LD、HD、PP、PS の4樹脂で二桁台のマイナスとなった。

これに対して前年比では、LD、HD は輸入品の減少に伴い、主用途のフィルム分野での出荷が増加しプラス。PP では射出成形分野に加えてフィルム分野等の出荷増加もありプラスとなった。また、PS では輸入品の減少や上旬が天候的に高温が続いたこともあり僅かながらも前年を上回った。

ハ) 輸 出

原料動向、為替における環境変化もあり、前月比では LD、HD、PS でマイナスとなった。前年比では LD、PS はマイナス、HD、PP ではプラスとなるなどまちまちの結果となった。

ニ) 在 庫

在庫量は、LD は減少し、HD、PP、PS で増加した。在庫率(季節調整済)は LD で横ばい、HD、PP、PS は前月に対して若干上昇した。在庫水準としては、LD、HD はやや高め、PP、PS はほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		7月末	8月末
LD	▲ 4,800	2.8	2.8
HD	+17,100	2.4	2.6
PP	+42,500	2.5	2.6
PS	+12,500	1.0	1.3